

全学FD/SD研修会特別企画 実施報告 シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」

教育支援研究開発センターは、本学の教育の質に関する取組の一環として、全学的なFD/SDを推進するための研修会・ワークショップを開催しています。本号では、7月上旬から10月上旬にわたって実施した、全学FD/SD研修会特別企画としての全4回シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」についてご報告いたします。

対話型AI：ChatGPTの活用が急速に広まる中で、高等教育機関においても対応と安全かつ有益な活用の模索が進められています。本学では、教員・職員・学生に向けて、ChatGPTの理解を深めるとともに教育的視点からの課題意識を共有するために、全4回シリーズとして研修会を実施しました。

8つの資質・能力 動画公開中！

学修者本位の教育の実現に向けての取り組み「DPに基づく『8つの資質・能力』説明動画」をPOSTのキャビネットにて公開中です。

POST > 教員・事務職員用キャビネット > 10_カリキュラムマップ・アセスメントプラン > 01_8つの資質・能力

アクティブ・ラーニングを活用した 授業事例集 公開中！

本学のアクティブ・ラーニングを活用した授業をご紹介する事例集をPOSTのキャビネットにて公開中です。

POST > 教員用キャビネット > 857_教育支援研究開発センター > 01_授業支援 > 授業事例集

Contents

- p2 <FD/SD活動の推進>
・シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」
第1回 開催
- p3 <FD/SD活動の推進>
・シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」
第2回 開催
- p4 <FD/SD活動の推進>
・シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」
第3回・第4回 開催

「ChatGPTによって大学教育はどう変わるか」

教職員
対象

講師：狩野 芳伸 先生 (静岡大学情報学部行動情報学科准教授)
 座談会：狩野 芳伸 先生
 黒坂 光学長
 小林 満 副学長
 山田 修司 副学長
 在間 敬子 副学長

京都産業大学 令和5年度 全学FD/SD研修会 特別企画

ChatGPTを考える と大学教育 - 第1回 -

ChatGPTをはじめとする対話型AIの教育への影響が懸念されるとともに、その活用の可能性にも期待が寄せられています。本学においても、「シリーズ：ChatGPTと大学教育を考える」と題して、その光と影について考える機会を設定しました。(全4回) 第1回は、ChatGPTについて理解し、進化し続けるAIとの共存を考えるきっかけとする。そして、研究・業務・生活において、ChatGPTを安全かつ効果的に使えるようになることを目的として、静岡大学情報学部行動情報学科 狩野芳伸先生をお迎えして開催します。またない機会ですので、ぜひご参加ください。

講師
 静岡大学情報学部行動情報学科 准教授 狩野 芳伸 先生

|テーマ| 「ChatGPTによって大学教育はどう変わるか」
 |プログラム| 話題提供 狩野 芳伸 先生
 座談会 狩野芳伸先生、黒坂光学長、
 小林満副学長、山田修司副学長、
 在間敬子副学長(コーディネーター)

実施日時 2023年7月3日(月) 15:30~17:30
実施方法 対面×オンライン(Teams)のハイブリッド形式
 場所: T205教室(天地館2階)
申込方法 事前に申込フォームよりお申し込みください
 期限: 6月29日(木) 締切

問い合わせ 教育支援研究開発センター (4号館4階) 075-705-1729 kyoiku-shien-center@star.kyoto-su.ac.jp

7月3日(月)に第1回研修会を開催しました。

「ChatGPTによって大学教育はどう変わるか」をテーマに、まずはChatGPTについて理解し、進化し続けるAIとの共存を考えるきっかけとすること、そして、研究/業務/生活において、ChatGPTを安全かつ効果的に使えるようになることを目的として、自然言語処理・人工知能が専門の静岡大学情報学部行動情報学科准教授の狩野 芳伸 先生を講師にお迎えして開催しました。

講演では、ChatGPTについて、できることとできないこと、性能の引き出すプロンプトのコツ、研究における活用の可能性、生成系AIの懸念点等が解説されました。最後に、学修成果、学習支援での利用、学生の理解等、大学教育との関わりについてお話がありました。

また、研修会後半には黒坂光学長、小林満副学長、山田修司副学長、在間敬子副学長(コーディネーター)を交えた座談会を実施しました。

座談会では、実際に例を示しながらの使用方法確認や、語学教育との関連、レポート課題対策、任せられる業務等について意見交換が行われました。

当日は、対面とオンラインでのハイブリッド開催で、149名(対面:30名、オンライン等:119名)が参加しました。



参加した 教職員の声

- ChatGPTを利用するうえでの注意点や活用方法が理解できた
- ChatGPTが間違った回答を返すことは自分でも試して実感していたが、その理由を仕組みから解説していただき納得した
- Web上の解説記事では得られない、専門の研究者の方ならではの話を聞いて良かった
- トップ層の意見が聞けたことで今後の方針が見えたことが良かった
- 大学としての姿勢を知ることができたのがよかった

「どうするChatGPT？— 授業での活用方法 —」

教員
対象

講師：金丸 敏幸 先生 (京都大学国際高等教育院准教授)

京都産業大学 令和5年度全学FD/SD研修会 特別企画

ChatGPTを考える と大学教育 — 第2回 —

ChatGPTの活用が急速にひろがりを見せる中で、大学教育への影響が懸念されています。本学では、「シリーズ：ChatGPTと大学教育を考える」と題して、その光と影について考える機会を設定しました(全4回)。本シリーズ第2回目となる今回の研修会では、ChatGPTの最新情報(できること・できないことなど)を理解すること、そして担当科目におけるChatGPTの活用方法と学習評価の留意点を理解することを目的として、京都大学国際高等教育院の金丸 敏幸先生にご講演いただきます。また後半は、参加者でグループに分かれ、実際にChatGPTに触れながら授業科目レベルにおけるChatGPTの影響について意見交換を行います。またとない機会ですのでぜひご参加ください。

講師
京都大学国際高等教育院 准教授
金丸 敏幸 先生

テーマ
「どうするChatGPT？
— 授業での活用方法 —」

プログラム
17:00-17:05 開会挨拶 黒坂 光 学長
17:05-17:45 講演 金丸 敏幸 先生
17:45-18:15 グループワーク
18:15-18:35 質疑応答
18:35-18:40 閉会挨拶

実施日時 2023年7月26日(水) 17:00~18:40

実施方法 対面×オンライン(Teams)のハイブリッド形式
場所：神山ホール3階 第1セミナー室

申込方法 事前に申込フォームよりお申し込みください
<https://forms.office.com/r/UUJPG8iCB9E>
期限：7月24日(月) 締切

問い合わせ 教育支援研究開発センター (4号館4階) 075-705-1729 kyoiku-shien-center@star.kyoto-su.ac.jp

7月26日(水)に第2回研修会を開催しました。

第2回目となる今回の研修会は、「どうするChatGPT？— 授業での活用方法—」をテーマに、授業レベルでのChatGPTの影響について取り上げ、ChatGPTのできること・できないことなどを理解すること、そして、担当科目におけるChatGPTの活用方法と学習評価の留意点を理解することを目的として、講師に京都大学国際高等教育院准教授の金丸 敏幸 先生をお迎えして開催しました。

研修会前半は、ChatGPTのしくみや実際に活用した時の生成物の精度などについて具体例を交えて説明があり、また評価への影響等にも言及があり、今後の大学教育のあり方について示唆に富んだ内容で講演いただきました。研修会後半は、「授業アンケートの分析」で、テーマ別に分類し集計する等、参加者が講師の実演を見ながら3つのタスクに取り組み、実際にChatGPTをどのように活用できるのか体験しました。

終了後のアンケートからは、より実践的に活用していく観点から企画した研修会であったものの、FDとしても満足度の高い研修会であったことが窺える感想が寄せられました。

本研修会は、対面とオンラインでのハイブリッド開催で、124名(対面：38名、オンライン等：86名)が参加しました。



参加した 教職員の声

- ChatGPTの現状だけでなく、今後の付き合い方や可能性についても知ることができた
- タスク(実演とワーク)を通じて、具体的に教員や学生がChatGPTを使って、成果物を作成する流れがわかった
- すぐ現場で役立つ実践的な内容だった
- ChatGPTだけではなく、他のAIサービスを組み合わせることで、より高度な成果物を得られることがわかった

シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」 第3回研修会

「どうするChatGPT？—業務での活用方法—」

職員
対象

講師：寺尾 健志氏 (フリーコンサルタント)

9月15日(金)に第3回研修会を開催しました。
第3回研修会は、「どうするChatGPT？—業務での活用方法—」をテーマに、事務職員の業務とChatGPTの関係について取り上げ、夏期職員研修としての開催となりました。講師には元私立大学職員で現在はフリーコンサルタントの寺尾 健志氏をお迎えし、当日は105名が参加しました。

研修会前半は、ChatGPTを始めとする生成AIのしくみや最新情報、活用のアイデアや利用されるシーンの紹介、使用のリスクや今後どのように向き合っていくか等、具体例を交えて事務職員の業務との関りを講演いただきました。研修会後半は、参加者自身でChatGPTを使ってみながら、組織やチームとしてChatGPTを使用するために必要なこと、このような新技術に対応していくための取り組み策等を、個人・グループワークを通して考えました。



シリーズ「ChatGPTと大学教育を考える」 第4回研修会

「生成AIについて、これだけは、大学生として知っておきたい」

学生
対象

講師：中田 寿穂氏 (日本マイクロソフト株式会社)



10月4日(水)に第4回研修会を開催しました。
第4回研修会は、「生成AIについて、これだけは、大学生として知っておきたい」をテーマに、学生を対象として開催しました。講師には、日本マイクロソフト株式会社パブリックセクター事業本部文教営業統括本部シニアスペシャリストの中田 寿穂氏をお迎えし、学生、教職員合わせて285名が参加しました。

講演会では、日本の少子高齢化問題や世界の賃金格差の実態という現実に迫りくる状況で生成AIが果たす役割や今後の社会を生き抜く上で大切にするべきスキルとチャンスなどについてお話いただきました。また、ChatGPT等の生成AIを正しく使えば、生産効率性が上がっていくことから、この力を大学生のうちから付けておくことが重要であること、このような力は、探求的学習にもつながり、人生100年時代に変化に対応できる力を付けることが今以上に大切な時代がやってくると、他大学の事例も示しながらわかりやすく語っていただきました。最後の学生との質疑応答も活発に行われました。